

(様式1)

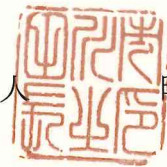
田教総第705号

平成30年4月12日

文部科学大臣 殿

福岡県田川市長

二場 公人 印



施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

田川市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

平成28年度（1年間）

（担当）

田川市教育委員会 教育総務課

住所：福岡県田川市大字伊田2550番地1

電話：0947-85-7165

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

平成30年2月9日 事後評価を実施

(2) 評価の方法

・本市教育委員会事務局において、事後評価を実施した。その結果を本市ホームページにて公表する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は達成できた。
本市においては、大部分の学校施設の老朽化が進んでいることから、再編を予定している中学校施設を除く学校施設については、教育環境の改善と建物の長寿命化を図るため平成27年度に策定した小学校施設の改修年次計画(平成28年度から平成32年度までの5か年計画)に基づき、計画的かつ効率的な施設改修の実施に努めているところである。
今後についても小学校施設の教育環境改善を図るべく、危険防止対策の校舎外壁改修、学校現場から改修要望が最も強いトイレの改修及び経年劣化が進んでいる屋内運動場の改修を進めていくため、設計及び改修工事を平成32年度末を目途に計画的に行っていく予定である。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

該当なし

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

該当なし

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

該当なし

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

本市小学校施設のトイレ設備老朽化に伴う環境改善の必要があるため、今年度は、弓削田小学校及び大浦小学校の改修設計及び工事を実施した。
施設の老朽化に伴い、児童生徒の衛生環境の改善が必要であるためトイレの対策が必要不可欠であることから床のドライ化及び便器の洋式化等の整備を完了した。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

該当なし

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

該当なし

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
弓削田小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H28.6～H29.9	H29.9.26		
大浦小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H28.6～H29.9	H29.9.26		